

奄美・沖縄社会主義運動一関係

●奄美共産党(非合法奄美共産党).....47年4月

中村安太郎・久留義蔵・島本忠雄・栄枝賢利

機関誌「ジミンセンセン」第1号(食糧問題特集号)～

『奄美の烽火 奄美共産党史1947—1953』(日本共産党奄美地区委員会 1984)

『祖国への道 抗米八年奄美の復帰運動史』(中村安太郎・文理閣 1984)

『沖縄奄美返還運動史(上)』(高安重正・沖縄奄美史調査会 1975)

『奄美大島日本復帰運動史料』(松田 清編・奄美史研究会 1968)

『奄美社会運動史』(松田 清・JCA出版 1979)

●日本共産党奄美地区委員会(非合法).....51年

●日本共産党琉球地方委員会.....53年～53年12月「奄美復帰」のため

●日本共産党奄美地区委員会.....54年

●奄美青年共産主義同盟(非合法).....48年

●奄美青年同盟(解散).....48年・委員長一森田義治・奄美青共の改組

●奄美大島連合青年団.....46年

機関誌『解放青年』第1号・2号(1946)

●奄美大島連合青年団.....50年再建・委員長一崎田実芳

新四谷区青年団→四谷区青年団→名瀬市連合青年団→奄美大島連合青年団→奄美大島名瀬市青年団

●名瀬市四谷区青年団

機関誌『新青年』第1号～27号(崎田実芳 1948～1953)

『わが青春は炎の中に アメリカ軍政下における奄美青年の闘いの記録』

(「新青年」復刻版発行委員会 1992～1993)

『米軍政の鉄壁を越えて 私の証言と記録でつづる奄美の復帰運動史』

(崎田実芳・奄美瑠璃縣巢之会 1997)

●奄美大島社会民主党.....50年

初代委員長一豊蔵朝芳・二代委員長一泉 芳樹

●琉球人民党大島地区委員会...51年・社会民主党+沖縄人民党=琉球人民党のため

●基地沖縄社.....(大阪)

新聞「基地沖縄」第1号～19号(～1959)

●沖縄問題懇談会→沖縄返還促進委員会→沖縄事情刊行会→沖縄返還同盟→沖縄事情研究会

『沖縄事情』第1号～607号(牧瀬恒三 1959～1991)

●沖縄人連盟.....46年(東京)会長一伊波普猷

大浜信康・比屋根安定・比嘉春清月・永丘智太郎

機関紙「自由沖縄」第1号～29号

●沖縄連盟.....49年・沖縄人連盟の改称～51年解散

●沖縄青年同盟.....47年(大阪)執行委員長一仲宗根仙三郎

機関誌『沖縄青年』第1号～4号(1947～1948)

機関紙「沖縄タイムズ」第1号～8号(東京・沖縄タイムズ社 1947～1949)

機関紙「青同ニュース」復刊8号～復刊10号(沖縄青年同盟大阪府本部 1947～1948)

『沖縄歴史物語 日本の縮図』(伊波晋猷・沖縄青年同盟中央事務局 1946)

●沖縄社会大衆党.....50年(初代委員長一平良辰雄～現委員長一糸敬慶子)

機関紙「社会大衆」第1号～113号

『沖縄社会大衆党史』(沖縄社会大衆党史編纂委員会編 1981)

●沖縄社会党.....56年・沖縄社会大衆党の分派

●日本社会党沖縄県本部.....62年・沖縄社会党の改称

●社会民主党沖縄県連合.....96年・日本社会党の改称

●沖縄人民党.....47年～50年・委員長一清崎康華・組織部長一瀬長亀次郎

●琉球人民党.....51年～53年一沖縄人民党+奄美大島社会民主党

『人民文化』創刊号～8号(編集主幹一仲里誠吉・人民文化社 1949～1950)

『世論週報』特集号日本復帰論・時事問題特集・再刊1号～4号(沖縄出版会 1951～1953)

『戦後初期沖縄解放運動資料集』(全三巻).....(不二出版 2004～2005)

●日本共産党沖縄県委員会(非合法).....54年~73年

委員長一瀬長亀次郎・書記岡一國場幸太郎

機関紙「民族の自由と独立のために」第1号~10号(1954~1955)

●沖縄人民党.....53年~73年・琉球人民党の改称

機関紙「人民」第1号~619号(1962~1974)

『沖縄人民党中央機関紙「人民」縮刷版』第1集~4集(あけぼの出版 2003)

『党創立を記念して 沖縄人民党の二〇年』(沖縄人民党中央委員会 1967)

『沖縄人民党 闘いの二十五年』(瀬長亀次郎・新日本出版社 1970)

『沖縄人民党の歴史』(沖縄人民党史編集委員会 1985)

『水攻めの沖縄』(沖縄問題調査会・青木書店 1957)

『民族の悲劇』(瀬長亀次郎・三一新書 1959)

『沖縄からの報告』(瀬長亀次郎・岩波新書 1959)

『沖縄・小笠原問題と日本共産党』(日本共産党中央委員会出版部 1966)

『地のなかの革命 沖縄戦後史における存在の解放』(森 宣雄・現代企画室 2010)

●日本共産党沖縄県委員会.....73年・沖縄人民党の改称

●琉球独立党.....70年

『三星大洋』(琉球独立党出版局・琉球独立共和国 1972)

『琉球独立党文書資料集』(筑地電子活版 2006)

●かいゆしクラブ.....08年・琉球独立党の改称

★★

●琉球大学学生会.....56年6月15日

『祖国から沖縄』(沖縄県学生会編・日月社 1954・復刊太平出版社 1968)

●琉球大学マルクス主義研究会.....61年1月

『名前よ立って歩け 沖縄戦後世代の軌跡 中屋幸吉遺稿集』(三一書房 1972)

●沖縄マルクス主義者同盟(沖縄マル同).....山里 章

『逆流の抗して 沖縄学生運動史 その苦悶と前進』(山里 章・沖縄問題研究会 1967)

●琉球大学反戦学生会議(沖縄大学+国際大学).....65年

●革命的共産主義者同盟革命的マルクス主義派沖縄県委員会.....72年

機関誌『革命戦線』第1号~26号

●沖縄県反戦青年委員会.....69年

『全軍労反戦派 基地解体の拠点』(沖縄県反戦青年委員会・三一書房 1970)

●沖縄中部地区反戦青年委員会.....70年

機関紙「叛逆」第1号~

●与那原(恵永)君を守る会.....68年(九州大学10・8羽田闘争被告・マル学同中核派)

●沖縄闘争学生委員会準備会.....68年・与那原君を守る会の発展

●8月沖縄闘争実行委員会.....68年・沖縄闘争学生委+へ平連+全学連+反戦青年委

●沖縄闘争学生委員会.....69年7月委員長一知念義二

●琉球大学全学共闘会議(琉大全共闘).....69年

●革命的共産主義者同盟沖縄県委員会(中核派).....71年

●沖縄問題研究会.....67年

●沖縄闘争委員会(沖縄委).....67年

●海邦研究会.....68年11月

●沖縄青年委員会(沖青委).....70年2月・委員長一田島一雄

『戦犯・天皇ヒロヒト決死糾弾九・二五皇居突入決死隊糾弾状』(沖縄青年委員会 1972)

『沖縄青年委員会 五・一五体制粉碎・沖縄奪還』(山城幸松編・新何陽社 1972)

●沖縄青年委員会(海邦).....70年7月・沖青委から分裂

『海邦』(パンフ・1970)

機関紙「海邦」第1号~〇号(ニライ社 1970~)

『沖縄返還と労働者の闘い』(沖縄青年委員会(海邦) 1971)

『物呉ゆずど 沖縄解放への視角』(沖縄研究会・佃畑書店 1970)

●沖縄解放同志会.....73年・沖青委から分裂

●直村公判闘争沖縄委員会

●直村支援・沖縄闘争東京行動委員会

- 富村裁判闘争連絡会議**
(沖青委(海邦)+公判闘争沖縄委+東京行動委員会+全国反帝学生戦線連合)
- 法政大学・富村さん支援委員会**……………**71年**
機関誌『列火』創刊号～(1971～)
- 沖縄青年同盟(沖青同)**……………**71年**
機関紙「海邦通信」第1号～13号(ニライ社)
機関紙「暴風」第1号～26号(沖縄青年同盟・ニライ社)
『沖縄解放への道—沖縄青年同盟論文集』(ニライ社 1972)
『沖青同結成以来の組織総括および闘争方針提起(草案)』(真久田 正)
『沖縄独立研究序説』(真久田 正・Ryukyu 企画 2013)
- 21世紀同人会**……………**真久田 正 2000年～**
『うるまネシア』創刊号～19号(2000～2014)
- 沖縄青年同盟人民権力派**……………
『沖縄武装闘争解放宣言 沖青同との決別と沖青同内一部観念的民族論批判』
- 沖縄解放同盟準備会**……………**73年**
『沖縄—差別を砕け!』(関東・関西沖縄解放同盟準備会 1973)
『皇太子 沖縄上陸決死阻止』(沖縄解放同盟(準)本部 1973? 反権力反彈圧沖縄人民救援会)
『ひめゆり怨念火』(知念 功・インパクト出版会 1995)
『沖縄青年同盟資料集 「復帰」に抗した(在日)沖縄青年運動』(琉球館/Ryukyu 企画 2023)
- 海洋博粉碎沖縄—「本土」実行委員会・本部現地闘争団**……………**75年**
機関紙「あだん」第1号～16号
- 天皇・皇太子沖縄上陸阻止・海洋博粉碎沖縄—「本土」(日本)現地共闘**……………**75年**
機関紙「赤土」第1号～3号
- 沖縄舎**……………**75年・金城あゆみ**
- 反権力反彈圧沖縄人民救援会(沖縄人民救援会)**……………**金城あゆみ**
- 反CTS(石油備蓄基地)闘争沖縄実行委員会**……………**78年**
(共産同戦旗派+共産同全国委+統一共産同盟+沖縄人民救援会)
- 沖縄日雇労働組合(沖日労)**……………**87年・金城あゆみ**
- 沖縄解放共闘**……………**90年**
- 沖縄・首里日雇労働組合**……………**95年沖日労の分裂・革労協系**